

令和3年 第11回 愛別町教育委員会 会議録

- 1 召集年月日 令和3年 9月22日(水)
- 2 召集場所 愛別町総合センター 長寿の間
- 3 開 会 令和3年 9月29日(水) 午後4時00分～

4 出席委員

職名	氏名	出欠	職名	氏名	出欠
委員	長屋 修二	出	委員	菊地美智子	出
委員	森定 典子	出	教育長	馬場 信明	出
委員	三嶋 健嗣	出			

5 会議に出席したものの職氏名

教育次長	谷田 道明
幼児センター長	森川 儀彦
教育主幹	金子 優美
総務学校教育係長	河合みどり
社会教育係長	端場 大竜

6 教育長提出議題

議案第1号	令和3年度愛別町教育表彰被表彰者の決定について
議案第2号	全国学力・学習状況調査の公表について
報告第1号	愛別町教育委員会教育長職務代理者の指名について

7 議決事項

議案第1号	原案可決
議案第2号	公表することに同意
報告第1号	承認

8 協議・その他

発 言 者	会 議 録 (1)
谷田次長	本日は、委員全員出席です。教育長よろしくお願い致します。
馬場教育長	<p>皆様、改めましてこんにちは。朝夕の冷え込みを感じる中、木々の紅葉が徐々に進み、実りの秋を迎えています。全国的には新型コロナウイルス感染者数が減少し、明日で都道府県に出されていた緊急事態宣言が全て解除されることになりました。本町では町民や関係者のご努力により感染者ゼロが続いております。ただ、今後冬に向けて第6波がくるのではないかと心配はあります。そのようなことからこれまでの基本的な対策はしっかり続けていく必要があります。本日も何点か協議していただくことがあります。よろしくお願い致します。</p> <p>それではただ今より第11回教育委員会議を始めます。本日の会議録署名委員は長屋委員です。よろしくお願い致します。前回の会議録がお手元に届いているかと思いますが、修正等何かありませんでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p>
委員	はいの声。
馬場教育長	<p>それでは前回の会議録は承認されたことといたします。続きまして教育長報告に移ります。資料をご覧ください。</p> <p>(前回の第10回教育委員会議以降の動向について説明)</p> <p>教育長報告について、何か質問があればお受けいたします。</p>
長屋委員	すみません。9月8日のコープフーズの給食説明会に参加したかったんですけどたまたま参加できなかったんですが、どういう方々がこれに参加してどんな感想があったかちょっとわかる範囲で。
馬場教育長	参加されたのは、議会議員、小学校・中学校の校長ですね。それと教育委員の菊地さんですね。
谷田次長	あと職員の中で、政策会議のメンバーですね。
馬場教育長	いくつか質問も出ましたね。あと、内容としてはどうでしたかね。
森川センター長	ラーメンとかカレーとか、たくさんの食材を少しずつこういうものが提供されますということでしたね。
馬場教育長	それを少しずつ食べるという感じで、あとはそれをどういうもので持ってくるかということですね。それとどのような状況で保管しているかとか、あとはコープフーズさんのスクールランチの実施している内容の説明だとか、そんなところだったのかなと思います。
長屋委員	町長が言っている給食っていう言葉と、それを受けている町民の給食のイメージとこの配食というのがどうなのかなというのが、政策会議の中で話し合いが当然あるんだろうなと思うんですけど、それについてはまだ政策会議の中で進行中ってことですよ。それで、それによって町長が目指している給食っていうのは、どの部分をいうのか私もよくわからないんですけども、その政策会議の

発 言 者	会 議 録 (2)
	決定はまだこれからの話ですか。
馬場教育長	政策会議のほうでこういうような方法が良いのではないのでしょうかということ で町長のほうにあげますよね。そして、あとは町長のほうで考えて判断するって いうようなことになるのではないかと思います。
長屋委員	では、我々は黙って聞いているだけですか。
谷田次長	いや、教育委員さんの意見は大事だと思います。
長屋委員	だから、いきなりコープフーズの配食っていう話が出たので、あれって正直思 ったところで、事前に何か話があるのかなと思っていた。いきなりそういう風に やりますよって言われて。
馬場教育長	まだやるっていうふうな決定ではないんですね。それで、やる方向にはあるの かなというか、それを取り入れたら良いですよっていう考え方はあるのかなと いうことと、合わせて先ほども言ったかもしれないんですけども、それが最終 的なゴールではないというか、政策会議の中でそういうような方法を取り入れな がらも、やはり最終的なゴールは学校給食法に基づいた給食っていうことも合わ せて考えていく必要があるのではないかと思います。そういうようなこと にはなっているんですね。ただ、その場では教育委員さん方の考えどうのこうの っていうことについては出ていなかったですよ。私も出さなかったんですけども。
谷田次長	試食会の時ですか。
馬場教育長	試食会ではなくて、政策会議の中では出てないですよ。
谷田次長	関わりとかということですか。
馬場教育長	そうですね。
谷田次長	そうですね。
馬場教育長	今日の議題ではないんですけども、そういうようなことも含めまして、今で も良いんですけども、後ほど何かご意見がありましたら、政策会議の中ではこ ういうような意見があったということは説明することはできるかなと思います。
長屋委員	とりあえず、はい。
馬場教育長	その他ありますか。 なければ議案審議に移ります。議案第1号「令和3年度愛別町教育表彰被表彰 者の決定について」を議題といたします。事務局のほうから説明をお願い致しま す。
谷田次長	(議案第1号の朗読)
谷田次長	(議案第1号の説明)
馬場教育長	ただ今、事務局から説明がありましたが、この件につきまして何かご意見、ご 質問等がありましたらお願い致します。

発 言 者	会 議 録 (3)
	なければ議案第1号については原案のとおり可決することによろしいでしょうか。
委員	はいの声。
馬場教育長	ありがとうございます。続きまして議案第2号に移ります。議案第2号「全国学力・学習状況調査結果の公表について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。
谷田次長	(議案第2号の朗読) (議案第2号の説明)
馬場教育長	ただ今、事務局から説明がありましたが、この件につきまして何かご意見、ご質問等がありましたらお願い致します。
	なければよろしいですか。
委員	はいの声。
馬場教育長	なければ議案第2号については公表に同意するということによろしいでしょうか。
委員	はいの声。
馬場教育長	ありがとうございます。続きまして報告に移ります。報告第1号「愛別町教育委員会教育長職務代理者の指名について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。
谷田次長	(報告第1号の朗読) (報告第1号の説明)
馬場教育長	ただ今、事務局から説明がありました。この件につきまして何かご質問等ありましたらお願い致します。
委員	ありませんの声。
長屋委員	教育長、事故のないようにお願いします。
馬場教育長	事故のないように節制します。なければ報告第1号については承認するということによろしいでしょうか。
委員	はいの声。
馬場教育長	ありがとうございます。以上で議案審議は終了しました。次に協議・その他ということで事務局から何かありますか。
谷田次長	(今後の日程、スクールランチの今後の方向性について説明)
馬場教育長	今のことに関わって何かないですか。 ちょっと私から良いですか。先ほどもちょっと話したんですけども、政策会議の中で色々な意見も出てきてはいるんですが、私の立場としては教育行政を推進していく立場から意見をしているつもりではあるんです。ですから、皆さんは町長の公約っていう、そういうような視点で見られているところはあるんですけ

発 言 者	会 議 録 (4)
	<p>れども、やっぱり教育行政を進める上で学校給食というのはどうなのか、スクールランチはどうなのかなっていう、そういうような思いで政策会議に参加させていただいているっていうそんなような状況です。次長のほうで、近隣の給食の状況だとか詳しく調べてくれているんですけども、普通に運営して無償化しないでやって3千万円くらいですよ、一番安いところでは。おそらく無償化してスクールランチをやるとなると2千万円から2千5百万円くらいかかるのかなという感じですよ。別の町では、運営だけで5千万円とかそれくらいかかっているようなところもあります。それに機材とかのメンテナンス、更新ですか、そんなようなことも考えていかなければならないんですけども、さっき言った3点ですね。子ども達に安心して温かい昼食を、それから保護者の負担軽減、あとは学校給食法で求められている給食目標を達成させるっていうことで、スクールランチでも可能な部分はあるのかなということと、なおかつ何か施設を作ってやるとなると3年、4年かかる可能性が出てきますよね。そうしないでもスクールランチでしたらそれが可能になるのかなっていう、そんなような思いでいます。もし各委員さんの中でご質問やご意見等がありましたら聞かせていただければと思っています。</p>
菊地委員	<p>前日も言わせていただいたんですけども、愛別が給食じゃないから愛別に引っ越してきましたっていう人がいますよね。そういう人たちは例えばスクールランチになったときに、うちはお弁当が良いですっていうふうな流れになることとか想定はしているんですかね。その人がどう判断するかわからないんですけど、給食がないから愛別に来たのは間違いなことなので、何年か前に給食を考えたときにアンケートを取ったかと思うんですよ。それで、配食は給食じゃないっていう話だったり、そういう絡みもあって断念したことも以前にはあったかと思うんですけども、今回は公約っていうこともあるかもしれないんですが、保護者の意見は今のところまだ聞いていない状況だと思うんですよ。公約では無償化ってなっていると思うんですけど、スクールランチを実施して無償化にした場合に、お弁当が良い、うちはお弁当にしますって言った方々にはどういう対応をするのかだとか、そういうことは考えているのかなっていうのが少し気になる場所なんですけど。</p>
馬場教育長	<p>そういう方がいらっしゃるっていうことで、そういう方に対する対応も考えていかなければならないですよっていうようなことは話題にはなっております。</p>
菊地委員	<p>スクールランチの方たちは無償で、お弁当の人たちは自分たちでお金を出してお弁当を作るっていうのも不公平なのか、自分たちで決めたことだからお弁当にお金がかかるのは仕方がないというのか。難しいところですよ。</p>
馬場教育長	<p>そうですね。それはね。</p>

発 言 者	会 議 録 (5)
菊地委員	スロープ作るとか、すごくお金もかかることですよ。一時的にスクールランチにするって話になったとしても、小中一貫校で校舎が新しくなったらきっと給食になって給食室が作られると思うんですけど、事前にスロープを作りたいということで膨大なお金をかけるのはどうなんでしょうね。公約だから仕方がないってなるのか。でもスクールランチで進んでいるみたいなので、何かすごい不安なところなんですけれども。
馬場教育長	先ほどお話した何年前か前っていうのは10年くらい前ですかね。
菊地委員	何年前でしたかね。
長屋委員	10年以上前だね。
馬場教育長	私も何か記憶にあるんですよ。町には住んでいなかったんですけども。それで、この間試食もされたと思うんですけども、たぶん大分技術的なものだからかそういうものが改善されて、その当時の配食とは大分変わってきてはいるのかなっていうふうには思っていますよ。
菊地委員	公約は給食、無償化。給食って言ってますよね。そのあたり、どう受け止められるのかわかりませんが、親御さん方が食べたわけではないですね。その中に子ども達、お父さん、お母さん方もいるんだとは思いますが、誰も知らないところで全てが進んでいくのかな。
馬場教育長	政策会議の中で、スロープのことはちょっとあれなんですけれども、スクールランチに対して予算付けが必要になってくるというふうに思うんですが、そうなる前にやはり子ども達や保護者、教職員に対して試食の機会っていうのを設ける必要もあるのではないかなと思うんですね。
菊地委員	1日も早くっていうところが、あまり考える間もなく、議論する間もなく進めていかなければならないところが何か心配なところがありますよね。1日も早くっていうのがどのくらいの話なのか。公約は聞いてましたけど、こんなに早く進んでいるとは、私たちも思ってもいなくて。
長屋委員	私がちょっと思うのは、自分も小学校の頃弁当持っていくじゃない。そうしたらやっぱりまわりみんな弁当の中身違いますよね、当たり前ですけど。それを隠しながら食べていたという記憶があって、そのずっと後から給食っていうのが出てきたんだけど、みんな同じもの食べてるじゃないですか。好き嫌いはあるだろうけど、オープンで和気藹藹で食べるじゃない。何かそれが良いなというイメージが私はあるわけ。今の小学生、中学生が、お父さん、お母さんが一生懸命作ってくれたものなのか、或いは外で買って持って行けて言われたものなのか、よくわかりませんが、お弁当を開けるのが嫌だっていうか寂しいなとかっていう子どもがいるのが私は嫌だなんて思うんですよ。一生懸命作ってくれているのはもちろん素晴らしいことなんですけど、そうじゃない子が1人でも2人でもいる

発 言 者	会 議 録 (6)
	と、ちょっとかわいそうだなっていう気がする。だから、給食の日の1週間にしても良く何かほかの学校でもやっているところあるみたいだけど、1週間のうちのこの曜日はお弁当とか、この曜日は給食だとか、そういうようなお母さんも頑張ってるような日があっても良いかなって。だから、お弁当を持ってきているのに問題が無ければ私は良いかなと思っているんだけど。ただ親が楽しいから給食にしてくれてというのは意味が違うかなと思っではいるんだけど、或いはお金もかからないんでしょって。それはちょっと私、本来の親の給食の意味とお弁当を持たせる意味と違うかなと。
菊地委員	昔は食育っていう形で給食を進めようと言われてたと思うんですけど、今回は親の負担の軽減ってなっていますよね。そこですよ。
馬場教育長	やっぱり教育的なことを考えれば食育っていうか、当然そこに当たるんですけど、今時代が変わってきて、本当に両親が働いているところが非常に増えてきているとか、そんなような状況の中であるので、そういう声にも耳を傾けていかなければならないのかなって、そんなふうに思うんですよ。私、附属幼稚園の副園長をやっていたときに、附属幼稚園の場合、入園選考があって、当時、定員があるから入園選考で落とさなければならない、そういうお子さんもいた時代もあったんですよ。ところが、ある年を境に入園選考をしても人が集まらないっていう時代がやってきたんですよ。なぜか、色々調査したんですよ。そうしたら、他の幼稚園の場合は、給食をやっている。それから送迎がある。それから放課後の預り保育がある。当時、附属幼稚園、この3つどれもやってなかったんですよ。そして、色々情報を集めながら、保護者のニーズだとかそういうのをやると、やっぱり預り保育あったほうが良いですよねだとか、給食も本当に保護者の愛情の込めたお弁当を大事にした教育をしようっていうことでやっていたんですけど、やっぱり週に1、2回はそういう配食のサービスのようなものを使わなければならないねって、そんなようなことで職員と、或いは保護者の意見なんか聞きながら進めていったっていう記憶があるんですよ。その時に保護者の皆さんの意見を聞くとお弁当作り結構大変なんですというような話も聞かされてああそうなんだなと思った時代もあって、それが平成22、3年頃です。ですから、きっとそれからまだ先に進んで、色んなものが便利になってできるようにはなっではきていると思うんですけど、もしかしたら、そういう保護者のニーズっていうのはあるのかなっていうことですね。だから教育的なことを考えるとそれはちょっと違うかなって思いながらも、目的としてはそういうところにも当てはまるのかなと考えています。確かにその通りだと思います。長屋委員の通りだと思います。菊地委員からも本当に心配されることっていうか、そういうようなこともお伺いしました。

発 言 者	会 議 録 (7)
森川センター長	<p>菊地委員が言われていたようなことも政策会議の中でも意見は出ていて、お弁当がいい人はそれを拒むことはできないですから、とりあえず選択制にしようっていうような意見も出ているんですね。たださっき言っていた平等か不平等じゃないかっていうことで、スクールランチは無償化なのに、お弁当はやっぱり食材だとか手間だとかそれに対してお金を支給するというのもおかしいし、それはまたちょっと話が違ってくるよなっていうような話が出ていて、政策会議の中では選べるようにしたほうが良いよなっていうような話も出てるんですけど。</p>
馬場教育長	<p>様似町で、新聞等にも出てるんですけども、そこで9月から始めたのかな。それは希望者だけが取り入れるっていうそういう形式なんですよ。</p>
長屋委員	<p>クラスの半々くらいなのかな。それが1人か2人、ポツンと違ったりしたら、何かかわいそうな気がして仕方がないんだけど。</p>
菊地委員	<p>お弁当が良いって言って引っ越してきたのも、たぶん親の考えで、子どもの考えではないから、子どもがかわいそうだっていう気も。</p>
長屋委員	<p>現実にいるのかい。</p>
菊地委員	<p>いますね。それからあとは気持ちは変わっているのかどうかかわからないけれども。私もこの間のコープのを食べてみて、イメージが少し変わったというか、そんな食べれないようなおいしくないものはなかったと思うんですよ。もしかしたら、親御さんたちも試食会みたいなのがあって食べてもらえたら、これだったら良いかなって思ってもらえるかなという気もしたり、話だけでどうしますかって言われたら嫌だったら嫌としか言いようがなかったりするんで、もしかしたら良い方向に変わってもらえるのかもしれないなという気はするんですよ。そうしたら全員がスクールランチ良いねって言うってくれるのかもしれないなっていう気持ちはありますね。食べてみての感想ですけど。</p>
馬場教育長	<p>そうですね。食べてみないと味もそうだし、それからああいうコンテナっていうか、温める機械に入れて持ってくるんですよだとか、そんなような説明とか受けたらちょっと以前とは違うなと。</p>
菊地委員	<p>違うし、ちょっと冷めたようなお弁当だと思っているかもしれないです。それもわからないですけどね。何とか良い形でというか、反対する人がそんなにいない形で進められたら一番良いですよ。</p>
馬場教育長	<p>そうですね。貴重な意見ありがとうございました。あとよろしいですか。なければそういうことで、以上で終わりたいと思いますがよろしいですか。</p>
委員	<p>はいの声。</p>
馬場教育長	<p>以上をもちまして第11回愛別町教育委員会議を終了いたします。大変お疲れさまでした。</p>

発 言 者

会 議 録 (8)

令和3年 9月29日 午後5時00分終了

会議録署名委員 長屋 修二

会議録作成者 谷田道明